

# be) between 読者をつくる

## アルコール規制に賛成？

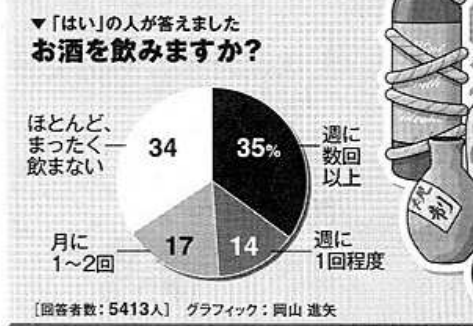


▼「はい」の人が答えました  
**その理由は？** (二つまで選択、6位まで)

- 飲酒運転による犠牲者が出ている 2041人
- 心身の健康を損なうことがある 1032
- 日本はアルコールに寛容すぎる 1013
- イッキ飲みで死亡者が出ている 670
- 暴力・暴言につながる 426
- 未成年者の飲酒は見逃せない 409

▼「はい」の人が答えました  
**どんな規制を優先？** (二つまで選択、6位まで)

- 自動販売機の規制 1744人
- 販売時間や場所の制限 1060
- イッキ飲みの禁止 990
- 酒税の引き上げ、値引きの制限 494
- 関連広告の規制 448
- 飲み放題の禁止 421

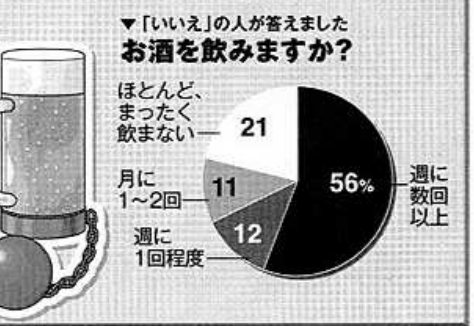


▼「いいえ」の人が答えました  
**その理由は？** (二つまで選択、6位まで)

- 飲酒は個人の自由 1612人
- 適度な飲酒は健康によい 676
- 食文化や生活様式の破壊につながる 498
- 人間関係を深める助けになる 400
- 外国と比べて割高で酒税を上げるべきではない 273
- 花見やレジャーに欠かせない 71

▼「いいえ」の人が答えました  
**特にやめてほしい施策は？** (二つまで選択、6位まで)

- 飲酒の完全禁止 1653人
- 酒税の引き上げ、値引きの制限 1190
- 販売時間や場所の制限 210
- スポーツ、文化イベントで酒類業者のスポンサー制限 160
- 自動販売機の規制 137
- 飲み放題の禁止 134



お花見や歓迎会でお酒を飲み過ぎていませんか？ 世界保健機関(WHO)が、過剰な飲酒は健康だけでなく、社会全体への害大として規制に動き出しています。beモニターに尋ねると、半数超が規制に賛意を示しました。(中島耕太郎)

### 販売規制には共感

東京都に住む女性(63)は24歳の時、公務員の男性と結婚。夫は組合活動に打ち込み、仲間らとの連夜の飲み会で新婚のころから家に帰ってこなかった。「世のため人のために働いているんだから」。当初は自分を納得させていたが、夫は親族の借金を背負ったこともあってアルコール依存症に。入院した先から脱走したり、幻覚で「スピーパーの前に男女の死体が」と10番したりと振り回された。20年間我慢したが、最後は？

庭崩壊にもつながる「酒害」

だ。「世界で年間250万人の死因に関係している」という。モニターからも「たはこの比ではない深刻な問題」(山口、65歳男性)との指摘があったほか、「酔った男性にセクハラされ心に傷が残った」(石川、43歳女性)、「夫が酒に費やした金で二戸建てを買えたのでは」(神奈川、67歳女性)という声も出てきた。厚生労働省の推計によると、国内のアルコール依存症患者は予備軍を含め440万人。beモニターの一人で、愛知県医師(41)は、依存症の入院患者が近くのコビニエで酒を買っている姿を見て絶句したことが何度もあるという。「断酒できる人は極めてまれ。いつでもどこでも

WHOの「アルコールの有害な使用を減らす世界戦略」は、日本も参加する5月の総会で合意される見通しだが、法的拘束力はない。だが、WHO専門家諮問委員で、久里浜アルコール症センター副院長の樋口進さんは、「3年後に報告を求められるため、酒に寛容な日本でも規制の動きが出るのでは」と話す。

「寛容な国」が変わるか

とはいえ、酒の市場は巨大だ。酒税収入は1兆4700億円(2007年度)に上り、酒造や小売りだけでなく、飲食や宿泊業など利害関係者も多い。樋口さんは「アルコールをノーと言うのが難しく、リスクを知ることができれば、酒税の一部を健康関連に充てる施策も考えられる」という。

安い酒が買える状態を野放しにするべきではない」と話す。電車や公園など公共の場所で飲酒を制限するべきだとの声もあったが、「売る側に規制をかけるのなら賛成」(三重、44歳女性)との意見が目立ち、優先すべき規制についても、「自販機」と「販売する場所や時間帯」が上位を占めた。「酒くらい自由に飲ませろ」(大阪、69歳男性)と、日常的に酒を楽しむ人たちのプーイングも、もちろん届いた。「人類の偉大な発明を完全に否定するもの」(東京、70歳男性)、「ワインや日本酒などは食文化と切っても切れない。醸造家や杜氏は芸術品をつくるがごとくだ」(神奈川、35歳男性)、「言葉の壁があった米國でもお酒を通してうち解けた」(愛知、66歳男性)。

規制という発想自体を疑問視する人も多かった。「規制ではなく自制が本道」(神奈川、57歳男性)、「何でもかんでも『お上』で規制する風潮はいたくない」(京都、37歳男性)。

米國では禁酒法の時代にマフィアのさばったことから、「規制強化は裏社会を潤すだけ」(愛知、60歳男性)との指摘も。景気後退を懸念する声も複数あった。

賛成、反対の双方から聞こえてきたのは、「まずは教育を」との声だった。今後酒を飲みたいのなら、よく考える時期に来ているのかもしれない。